

平成 30 年 9 月 3 日

豊浦地域にお住まいの皆様へ

新発田市教育委員会

豊浦地域の統合小学校について（お知らせ）

豊浦地域の統合小学校の位置については、中浦小学校か本田小学校のいずれかを候補校として検討協議を進めてまいりましたが、平成 30 年 7 月 18 日に開催された庁議（行政の意思決定の場）において、次のとおり市と教育委員会の方針案を決定し、8 月 8 日に開催した第 8 回豊浦地域統合小学校検討委員会において提案説明いたしました。

- ◎豊浦地域統合小学校の位置は、中浦小学校の位置とします
- ◎開校の時期は、平成 33 年 4 月 1 日を目標として進めます

（方針案決定の主な理由は裏面を御参照ください）

今後は、統合小学校の開校に向けて、校舎の増改築や駐車場整備を年次的に進めるとともに、校名・校歌・校章の制定、通学支援の具体的な調整など様々な課題について、豊浦地区区長会の役員、各小学校の P T A 正副会長及び豊浦保育園保護者会代表者で構成する「豊浦地域統合小学校検討委員会」で検討・協議を行ってまいります。

なお、検討状況等については、豊浦地域の皆様へ、随時回覧文書等でお知らせいたします。

新発田市教育委員会 教育総務課 橋本
電話番号 (22) 9531 (内線 2211)
Fax 番号 (26) 3755
E-mail kyoiku@city.shibata.lg.jp

【方針案決定の主な理由】

教育委員会では、これまでの豊浦地域統合小学校検討委員会の御意見を踏まえ、平成30年6月25日に、教育長及び4名の教育委員が、「地域の拠点性」や「教育環境」など総合的な観点から、候補2校を視察、協議した結果、それぞれに優位な点や課題はあるものの、下記の理由により中浦小学校の位置が統合校として優位であると評価しました。

1 豊浦地域における地理的要因としての理由

- (1) 旧豊浦町の中心部に位置し、他の小学校区からみて、通学面での偏りが少ない。また、通学支援を、コミュニティバスや既存営業路線など公共交通対策と、一体的に検討・整備できます。
- (2) 給食関係では、豊浦中学校の給食を含む共同調理場の整備が将来的課題としてありますが、多くの財源や建設用地の確保に時間を要するため、統合小学校の給食については、当面、既存調理室の機能拡充又は既設共同調理場から配送対応で検討を進めます。

仮に、既設の五十公野共同調理場や北共同調理場からの配送を行う場合、中浦小学校の方が近く、搬送時間やコスト面で有利となります。

2 他の教育機関との連携としての理由

- (1) 新発田市 豊浦地域の「教育エリア」として、豊浦中学校との距離が近く、小・中学校と地域・保護者との連携がとりやすい。
- (2) 豊浦保育園と隣接する位置にあり、統合小学校や放課後児童クラブが、一体的に配置されることで、通学・通園する児童・保護者にとって、利便性向上につながられます。